

議事要旨

件名	第三回 伊豆大島土砂災害対策検討委員会	日時	平成 26年 2 月 20日 (木) 9:30~12:00
		場所	第二本庁舎 10 階 一般会議室 210-211
先方	出席名簿一覧の通り		
<p>1. 検討内容</p> <p>(1) 前回検討委員会の討議概要</p> <p>(2) 大金沢における今後の土砂災害対策 (案)</p> <p>2. 説明概要</p> <p>○ 火山砂防計画の基本方針について</p> <p>① 伊豆大島における火山砂防計画の方向性を確認。</p> <p>② 元町地区における各溪流のハード対策の考え方を整理。</p> <p>○ 今後の土砂災害対策の概要</p> <p>① 今後の土砂災害対策の概要を説明した上で、ハード対策、ソフト対策の実施事項の概要を説明</p> <p>② ハード対策については、対策期間の考え方、対策期間に応じた実施方針、計画の基本量を確認</p> <p>③ ソフト対策については、ハード対策との関係、実施事項として「警戒避難体制の整備」「監視体制の強化」を実施することを確認。</p> <p>④ 大金沢の今後の土砂災害対策スケジュールについて、ハード対策とソフト対策を区別して時系列で整理。</p> <p>○ ハード対策 (案)</p> <p>① 計画基準点、砂防計画で対象とする現象・規模、土砂量・流木量、計画基準点より下流の対策について確認。</p> <p>② 発生区間、流下区間、堆積区間、下流域での土砂・流木の処理方針、施設配置方針について説明。</p> <p>③ 施設配置方針に基づき、施設配置を 3 案提示し、各案を評価項目ごとに比較検討。</p> <p>○ ソフト対策 (案)</p> <p>① 「警戒避難体制の整備」「監視体制の強化」「防災意識の向上」について、それぞれの実施項目を整理。</p> <p>② 各実施項目の概要を説明。</p>			

3. 主な意見

議事（１）前回検討委員会の討議概要

- 特になし（質問事項に対する対応・回答について了承を得た）

議事（２）大金沢における今後の土砂災害対策（案）

1) 今後の土砂災害対策の概要

- ハード対策の施設整備完了後も、対象規模を上回る降雨により土砂災害が発生する可能性もあるため、ハード対策だけでは十分ではないことを地域に理解してもらう必要がある。
- 計画基準点より下流での対策について、実現象として溪流保全工で流木を完全に流下させないことは困難であり、流下した場合にも許容できる考えを入れておくべきである。

2) ハード対策（案）

- 整備目標土砂量の設定にあたっては、今後、詳細な調査を実施するなどして見直しを行う必要がある。
- 短期対策では、左支川上流の斜面对策を優先的に実施することになっているが、施工状況によっては左支川以外の箇所でも順次実施していくこと。
- 施設配置案が複数示されているが、神達地区の土地利用、施設整備に伴う道路の付け替えなど調整事項があるため、計画の実現には時間を要する可能性もある。

2) ソフト対策（案）

- 住民説明のために、ハード対策のうち、短期対策が完了することで、どの程度の降雨まで対応可能となるのか整理しておくことが望ましい。
- ソフト対策で設置した監視観測機器が過剰な安心感を生む可能性があるため、各対策がどれくらいの安全性を補償しているのか整理しておく必要がある。
- ソフト対策についても、ハード対策と同様に短期対策として実施できる事項があれば、整理しておくこと。
- ハード対策で対象とした規模以上の降雨があった場合、ハード対策だけでは防災上の限界があることを考慮して、ソフト対策を組み込んでいくことが重要である。
- 島内では、ハード対策を行わない限り、ソフト対策だけでは不十分である箇所もあることを認識してもらいたい。

—以上—